

経営比較分析表（令和5年度決算）

東京都 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	32	対象	透I訓ガ	救臨災輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	61,628	非該当	非該当	13：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
520	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
30	-	550
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
433	-	433

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度
-	平成21	-
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

- ・四つの重点医療（血管病、高齢者がん、認知症及び高齢者糖尿病）を中心に、高齢者に特有な疾患に対応した専門医療を提供しています。
- ・二次救急医療機関として、救急患者を積極的に受け入れています。
- ・法人が蓄積してきた高齢者医療・研究の実績等を活用して、医療・介護を支える専門人材を育成しています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

救急患者等の積極的な受け入れや適正なコスト管理等により①、④、⑧、⑨については類似病院よりも良い値となっています。一方、②、③、⑦については類似病院の平均値よりも低い数値であるため、引き続き、新たな施設基準の取得、紹介患者の一層の獲得による医療収入の増加や医療費用のコスト管理に取り組む必要があります。⑤、⑥については、類似病院の平均値よりも低い数値となっており、DPC入院期間Ⅱを超過する入院の割合を検討する病院部門ヒアリングや早期退院支援等による平均在院日数の適正化等により改善を行います。

今後も近隣医療機関との連携をより一層強化し、初診患者の獲得に向けた取組の推進、病床利用率の向上に努めます。

2. 老朽化の状況について

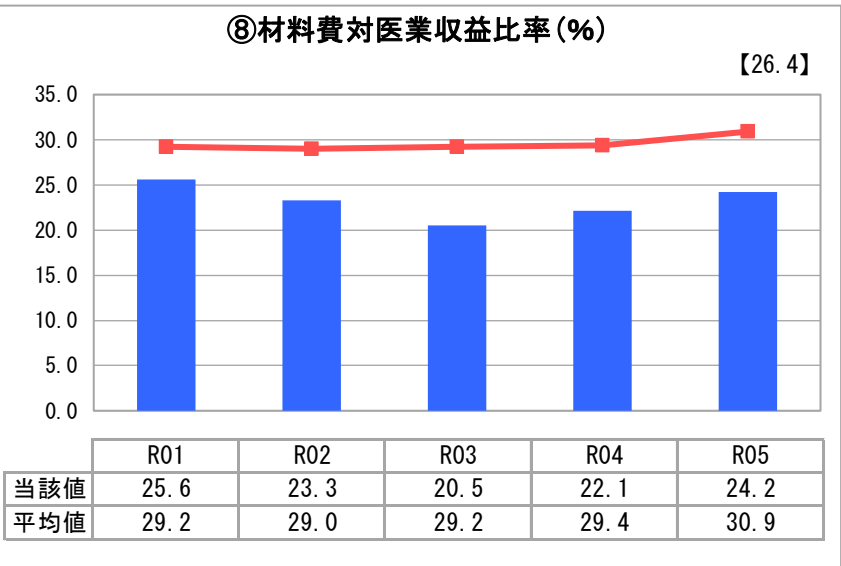
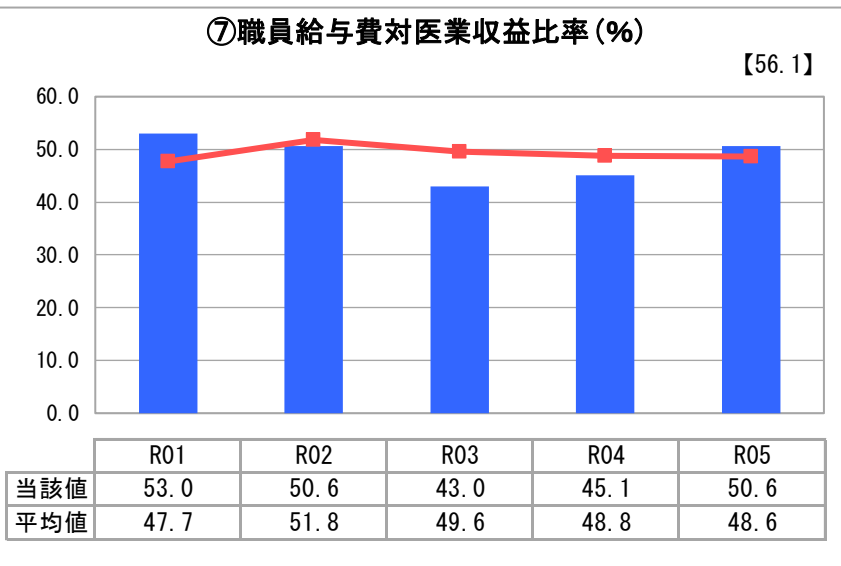
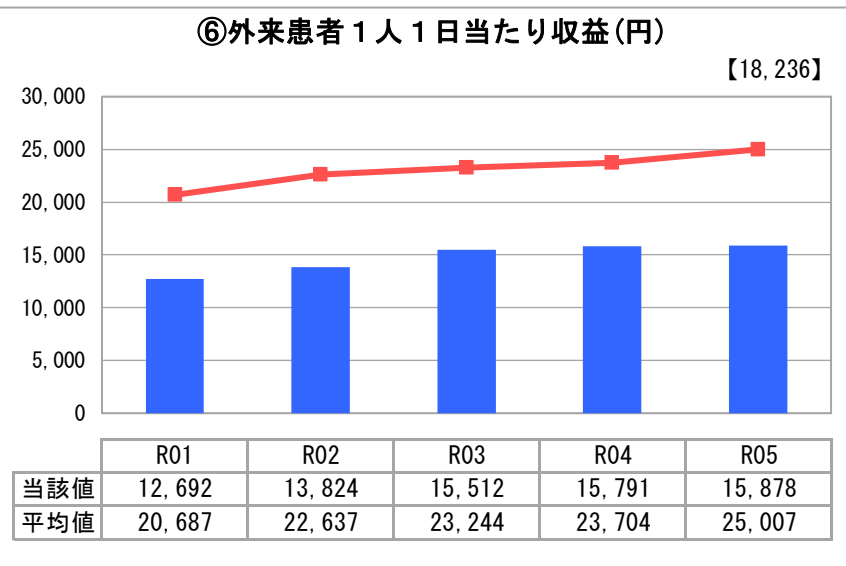
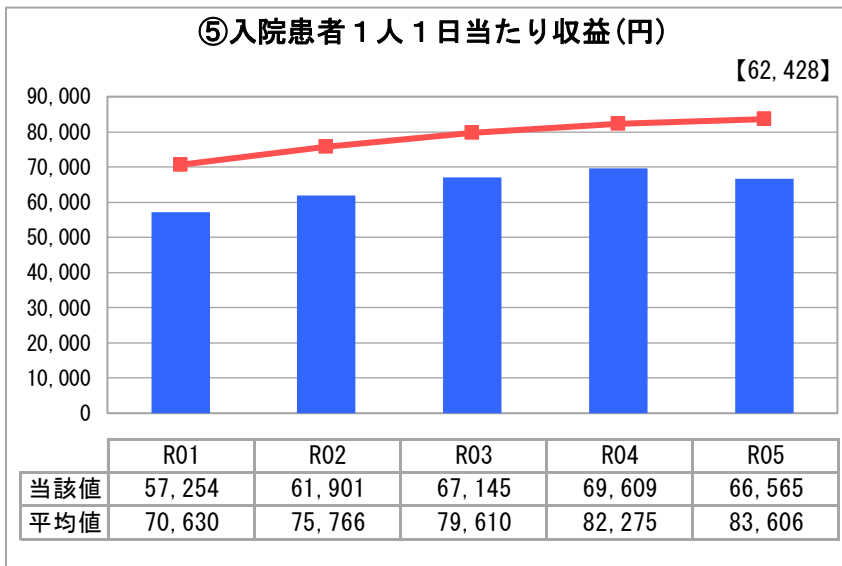
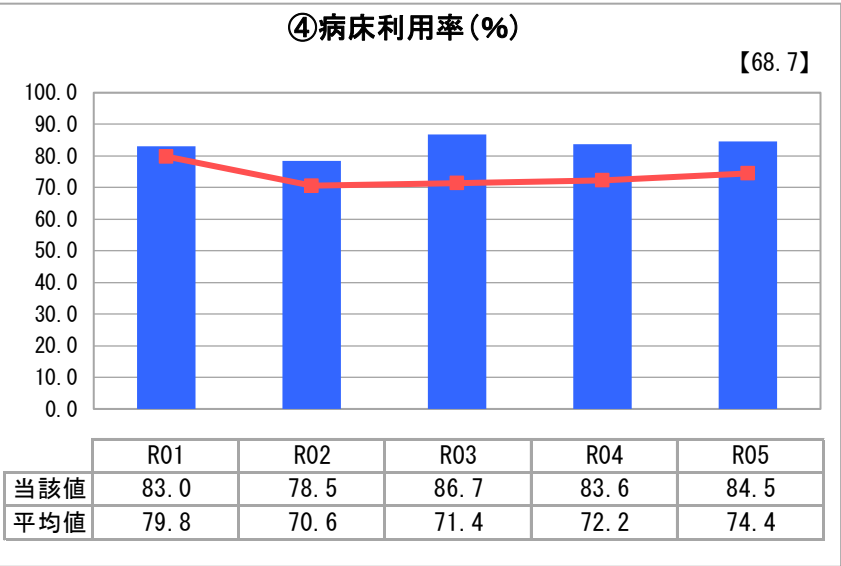
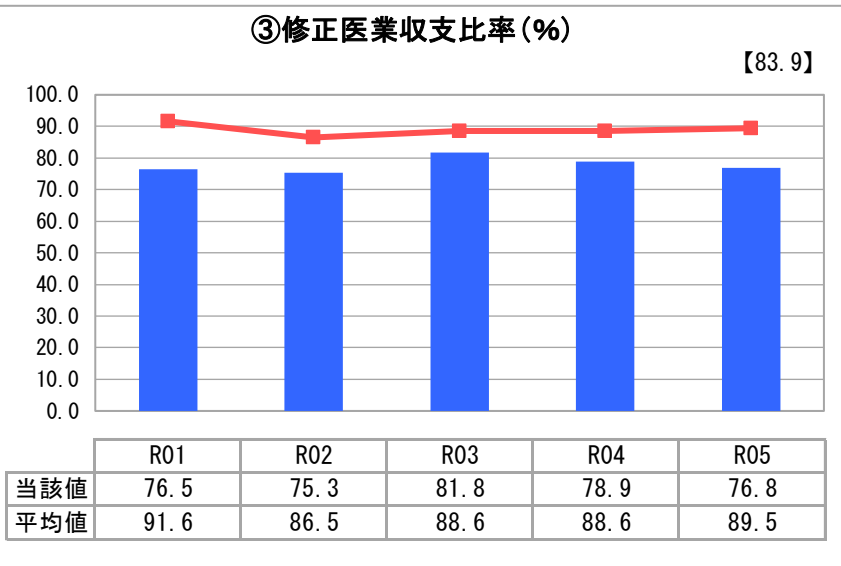
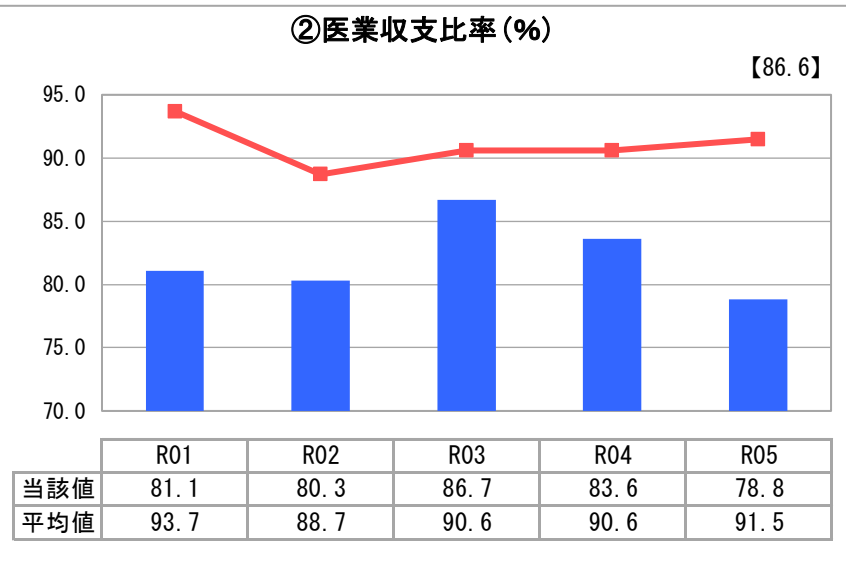
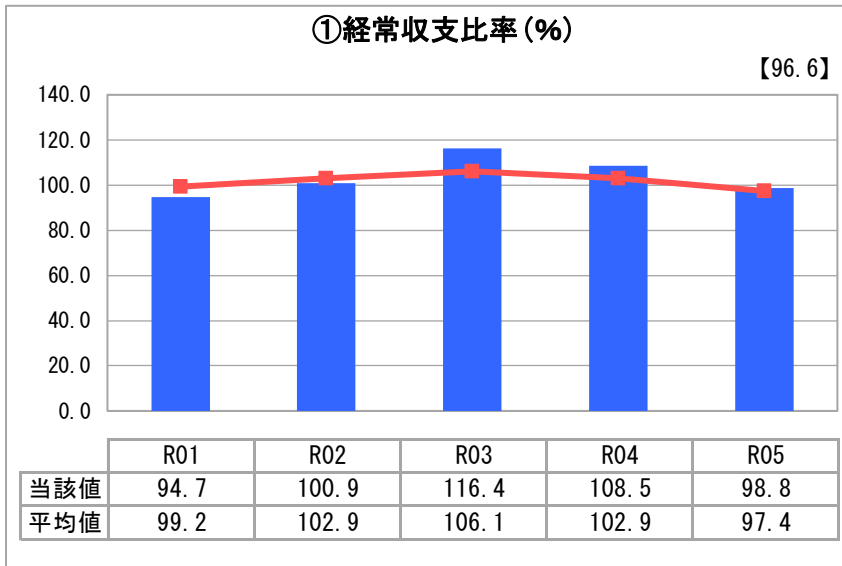
- ・平成25年度に新施設に移転しており、「①有形固定資産減価償却率」は、類似病院平均値に比べて低い水準で推移しています。
- ・医療機器等に関して、「②器械備品減価償却率」は類似病院平均値を上回っていますが、使用期間や稼働状況を確認しながら計画的な更新に取り組んでいます。
- ・「③1床あたり有形固定資産」は類似病院平均値を下回っています。

全体総括

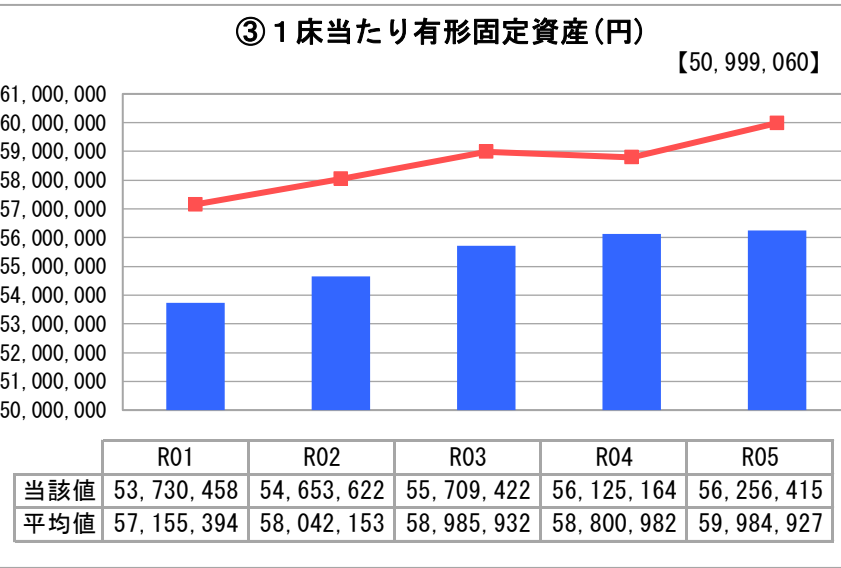
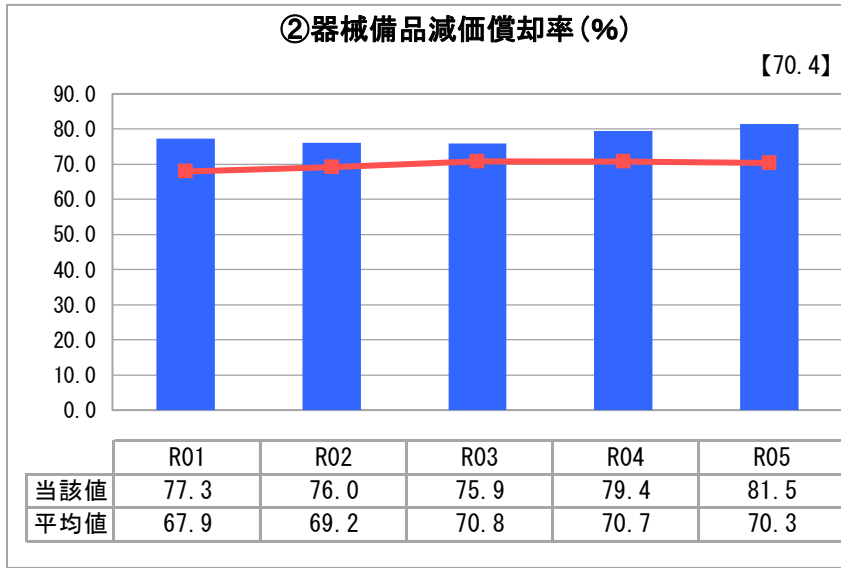
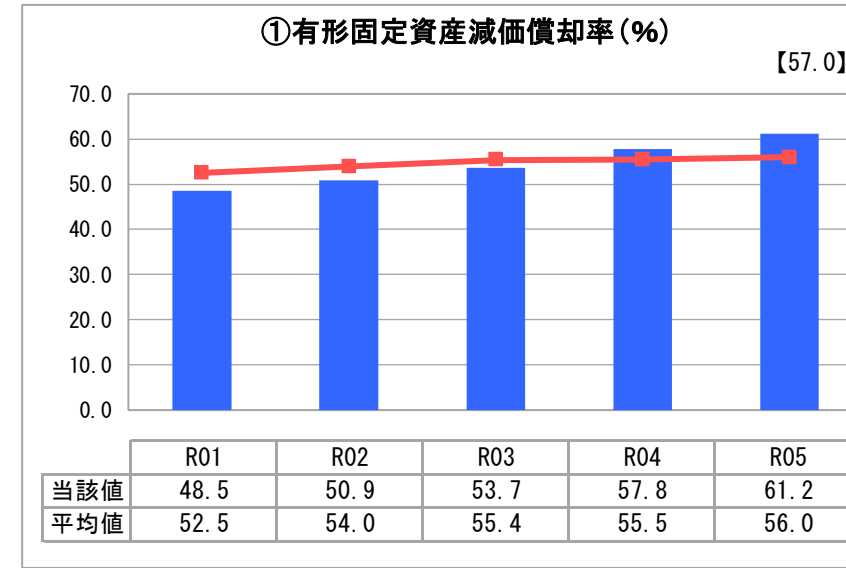
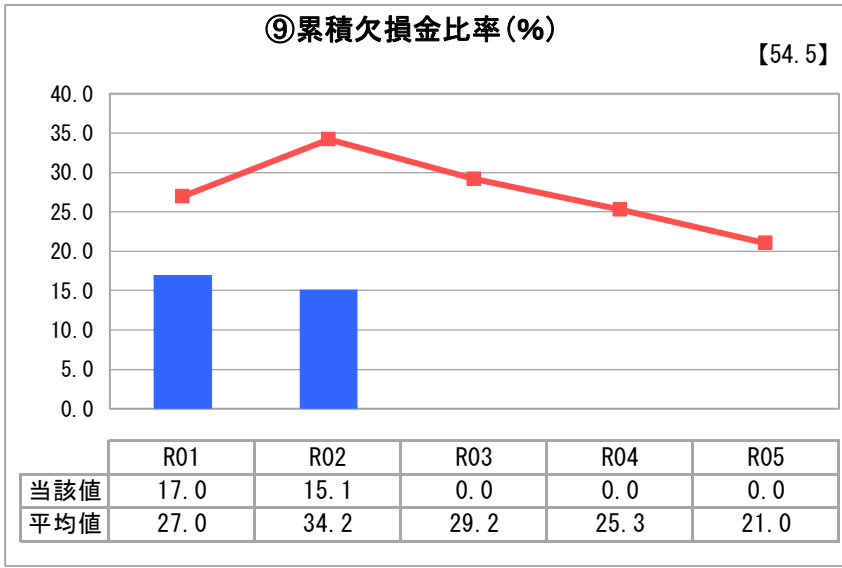
当法人は、東京都が定める中期目標と、法人が定める中期計画に則り、都における高齢者医療・研究の拠点として、四つの重点医療をはじめ、高齢者の生活機能の維持・回復のための医療の提供等に取り組む、高齢者の健康長寿や生活の質の向上に貢献しています。

今後も、これらの役割を十分に果たすため、地方独立行政法人としての特性を生かしながら業務の効率化や収支の改善に取り組むとともに、組織全体で経営基盤の更なる強化に取り組んでいきます。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。